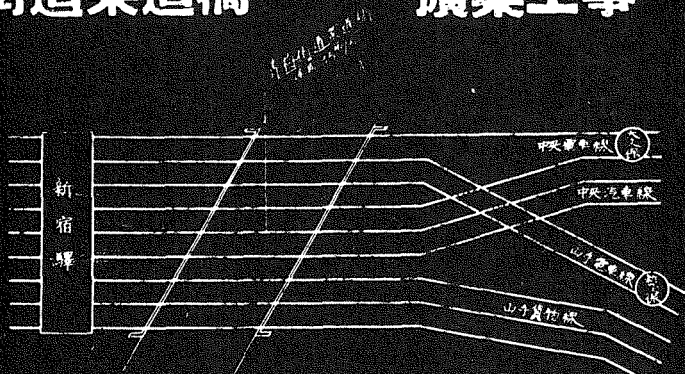


新宿青梅街道架道橋

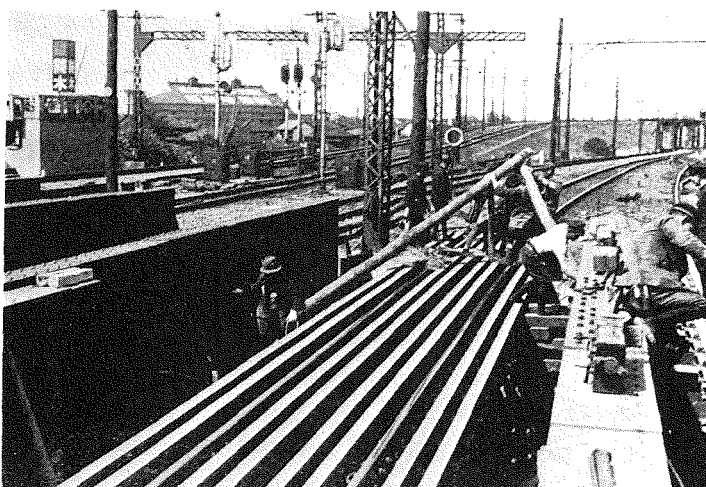
擴築工事

鐵道省東京
改良事務所

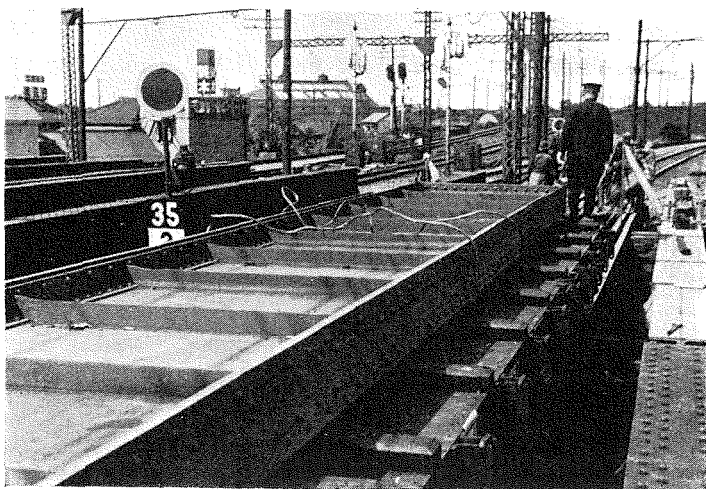


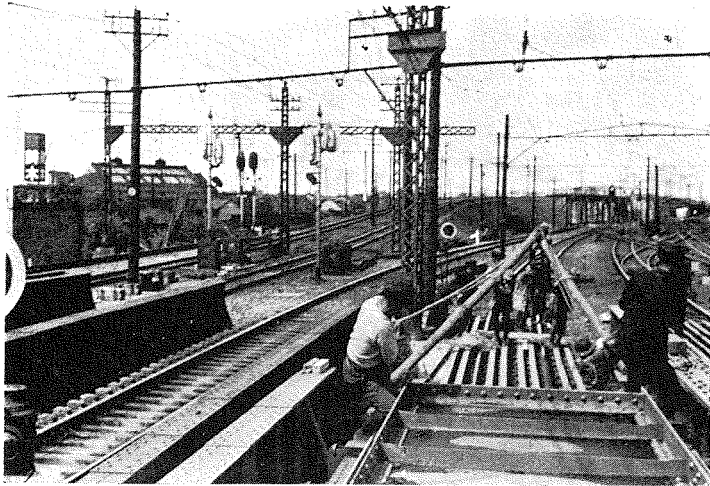
新宿驛構内青梅街道架道橋擴張工事（詳細本誌昭和十一年十月號に掲載）に於て、電車線4線分の鉄桁は、架設位置に隣接して線路と略同じ高さに機橋を築造し、その上にて組立て之を横取する方法に依つて架設したが、汽車線5線分の鉄桁は桁の各部分を架設位置に小運搬して其場で組立架設する方法に依つた。而して組立に當つては、之に隣接せる線路の列車運轉に聊かも支障を來すことなく施行せねばならないので工事は相當困難であつた。以下に掲げる寫眞は鉄桁組立の順序を示すものである。

1



2



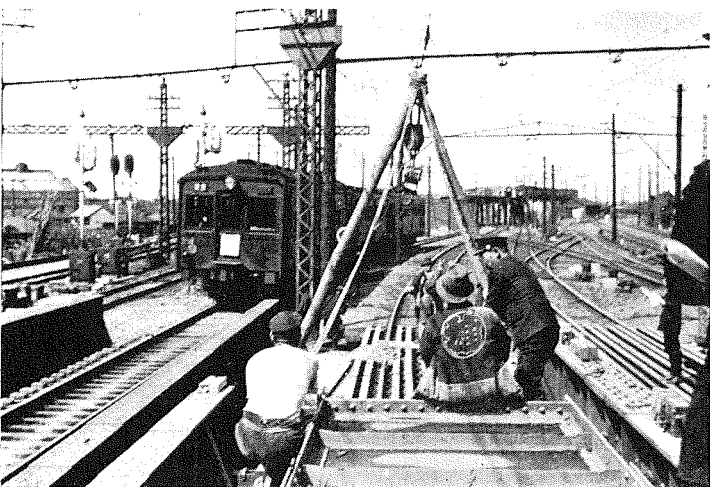


3

之が施行は昭和12年
3月15日より昭和12年
4月10日迄の間に、列
車運轉の間合を利用し
て行はれた。

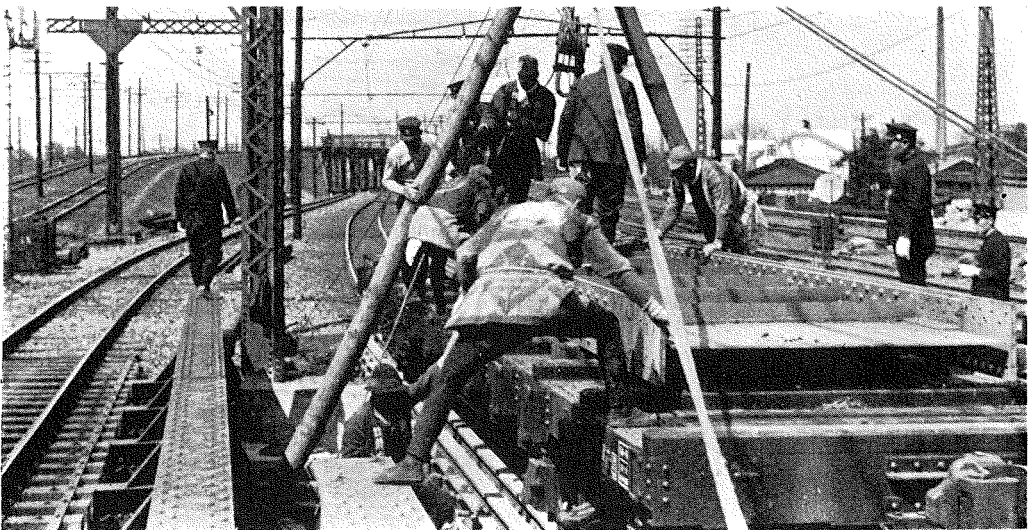
I

鉸桁組立個所に軌條
吊桁及同受臺を築造し
て、架設に支障となる
土砂の撤去を行ふ。

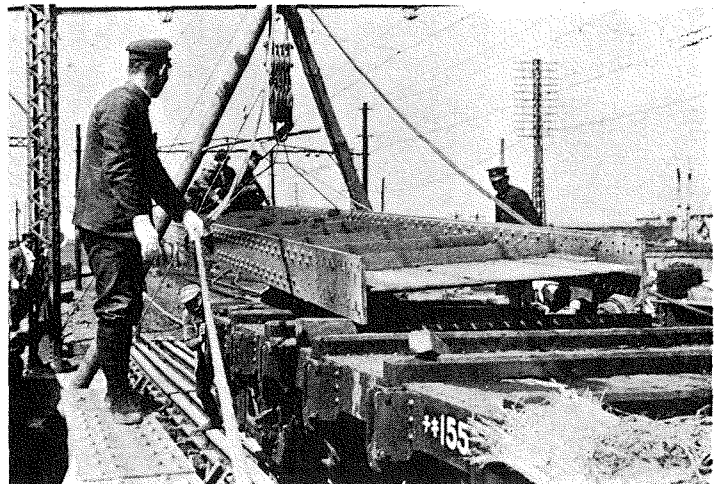
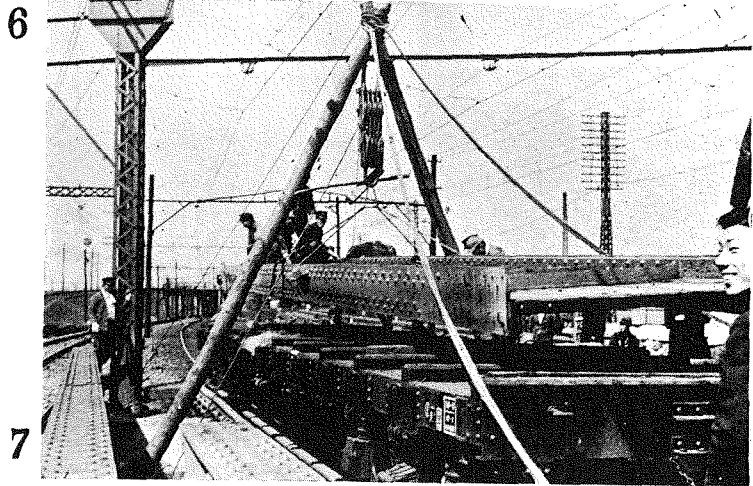
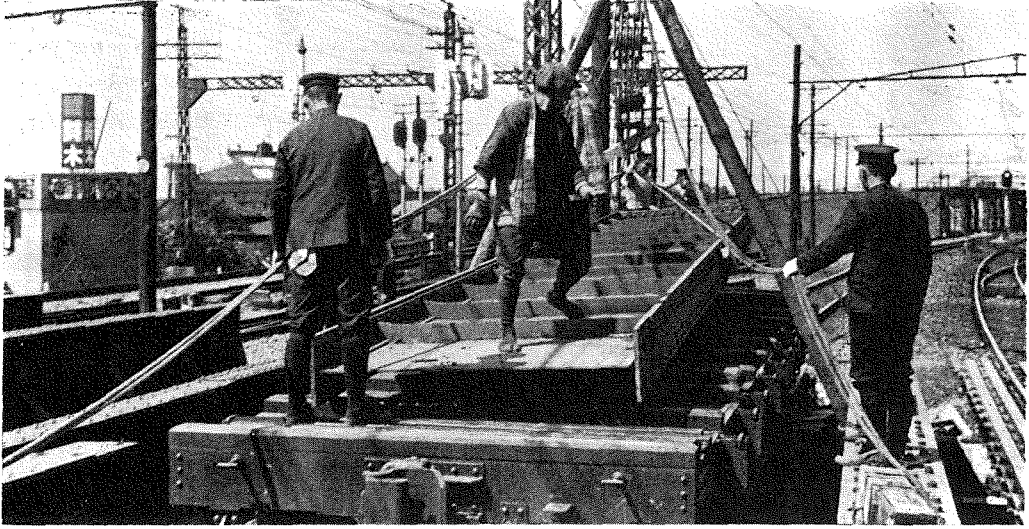


4

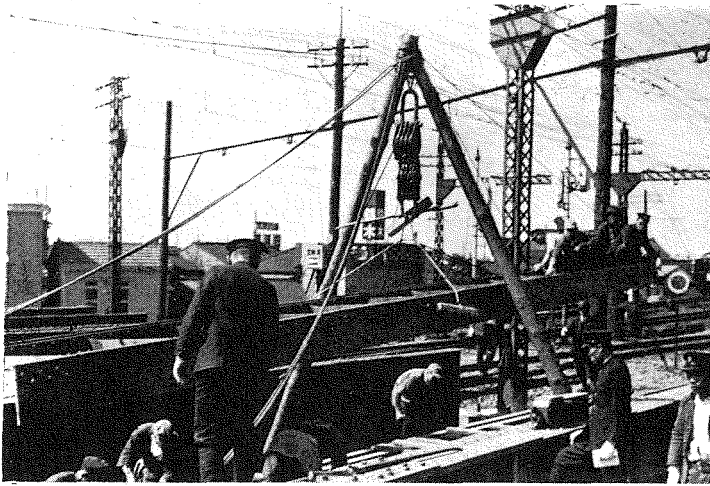
主桁は取卸すべき個
所に豫め設けられた二
股の下迄貨車積のまゝ
運搬される(竝置2,3,
4)



5



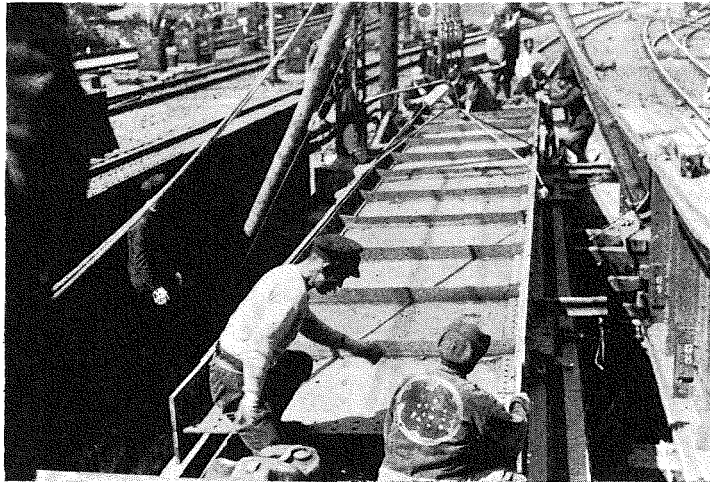
Ⅲ
 架設位置迄運搬され
 た主桁をウインチによ
 つて吊上げた後、貨車
 を押し出す。(写真5,6,
 7,8)



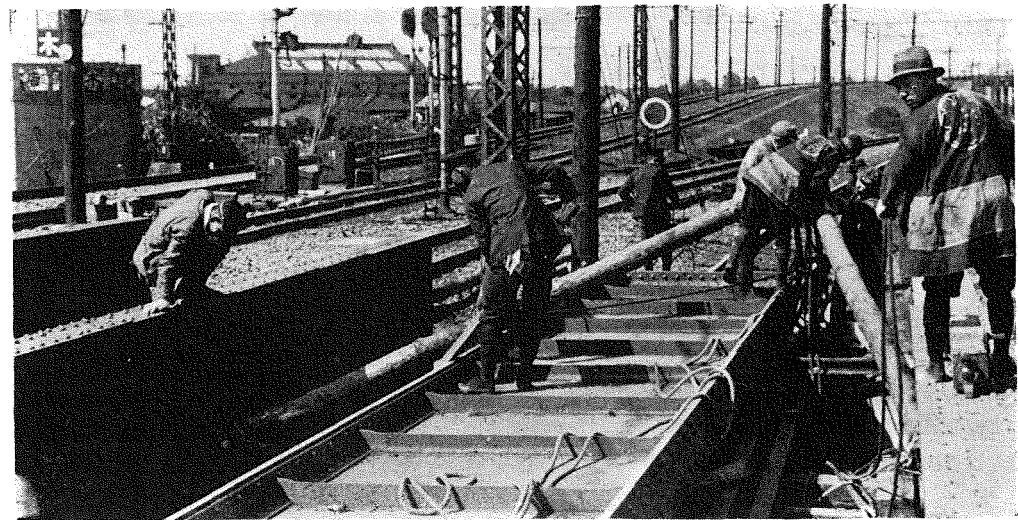
9

Ⅳ

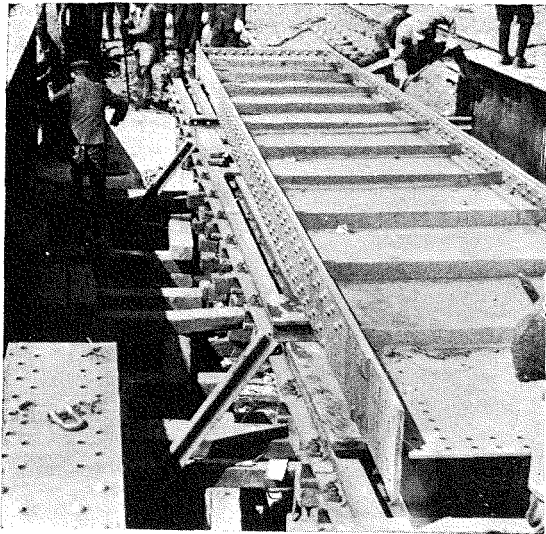
ウインチを緩めて主桁を本線上に取卸す(写真9, 10, 11)此時本線上及其側面には豫め滑り軌條を設置する(次頁写真12)



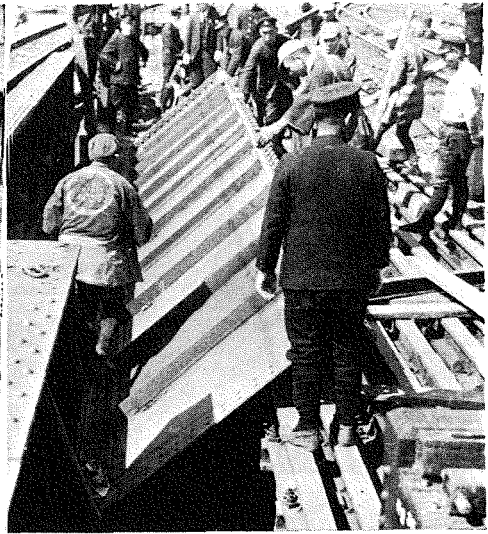
10



11



12

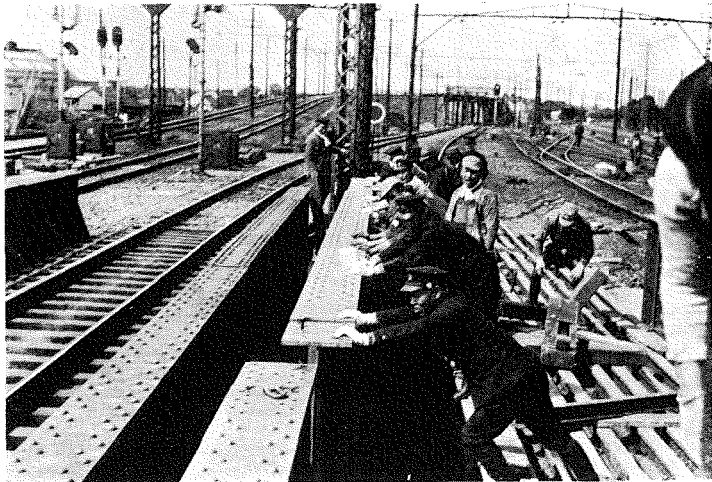


13



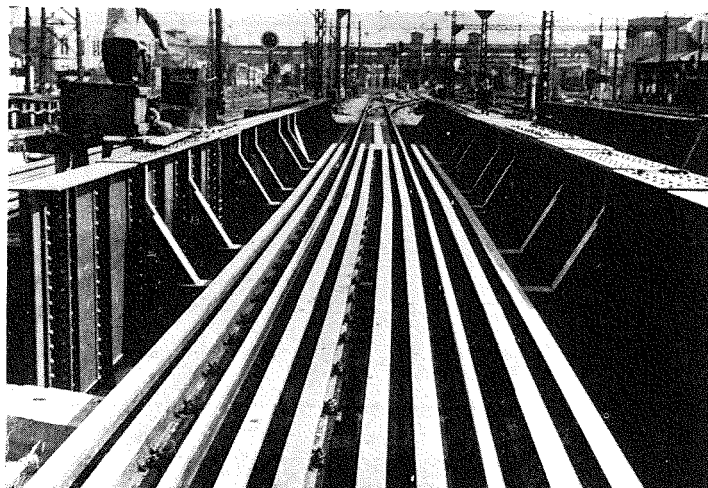
14

V
 パールを用ひ権みき
 とりつゝ桁を本線上よ
 り線路脇に滑り落す。
 (寫眞13)



15

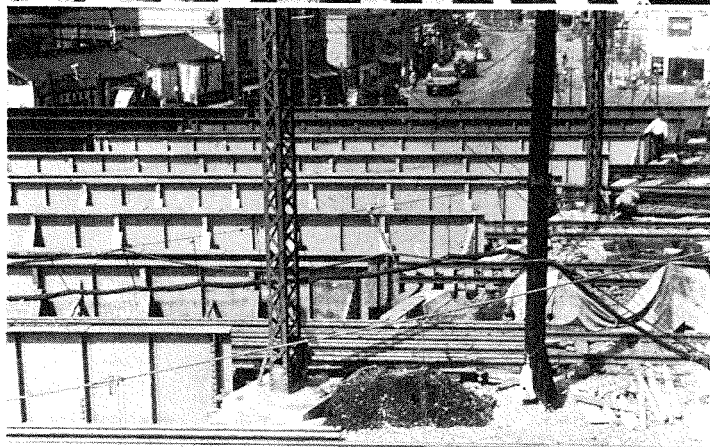
VI
 桁を箱ジャツキによ
 つて起し所定の位置
 に据付ける。(寫眞14, 15)



16

Ⅶ

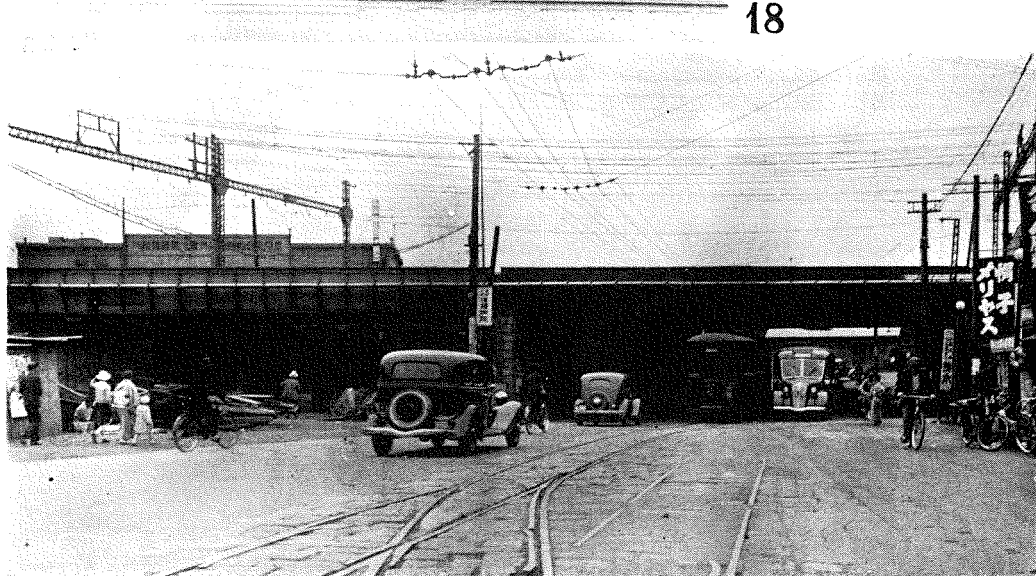
横桁其他の材料は受臺の間を通して運搬し主桁に取付け 絞紙する。受臺が支障となる個所の部材は受臺撤去と同時に取付ける。



17

Ⅷ

完成せる状況。(寫眞 16, 17, 18)



18